平成30年度　学校評価アンケート集計結果（自己評価報告書）　　平成31年3月18日

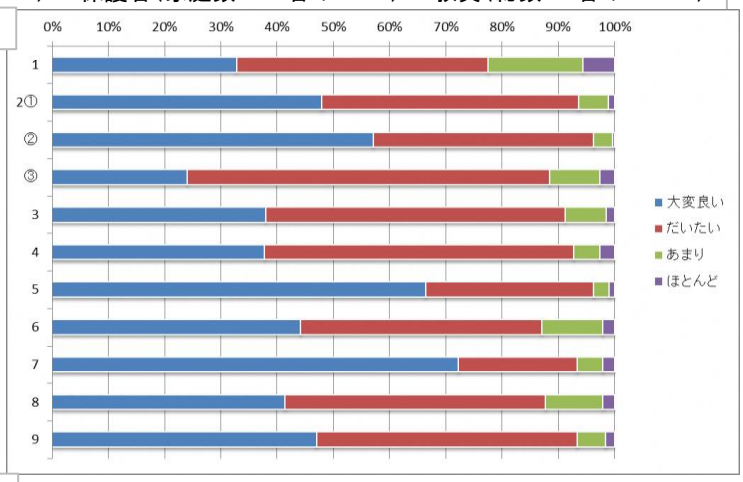
北区立王子小学校長　戸倉　務

学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。つきましては、集計および結果考察をお知らせします。今後とも本校の教育活動にご理解ご協力お願いいたします。

回答率　児童　（総数599名の98%）　保護者（家庭数494名の84%）　教員（総数38名の100%）

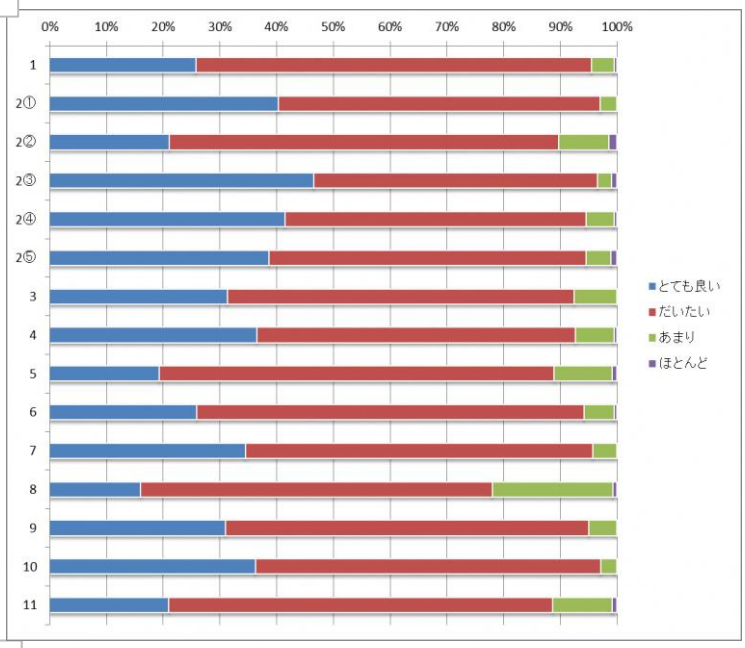
児童アンケート

1. あなたは毎日学校へ行くのが楽しみですか。
2. ①あなたは授業の内容がよくわかりますか。
   ②算数の授業で行っている少人数指導は、わかりやすいですか。
   ③授業規律10か条を、守っていますか。
3. あなたは学校の生活（行事・授業・役割分担など）でがんばっていることがありますか。
4. あなたは友達が困っていると助けていますか。
5. あなたは友達に対して、いじめをしていないですか。
6. あなたは、なわとびやジョギング、体育の授業などでめあてをもってすすんで運動していますか。
7. 朝は、遅刻をせずに登校し、朝の準備を自分ですることができていますか。
8. 自分から、先生や友達にあいさつしていますか。
9. 先生（担任・学年・専科・スクールカウンセラー）は、あなたの話を聞いてくれますか。



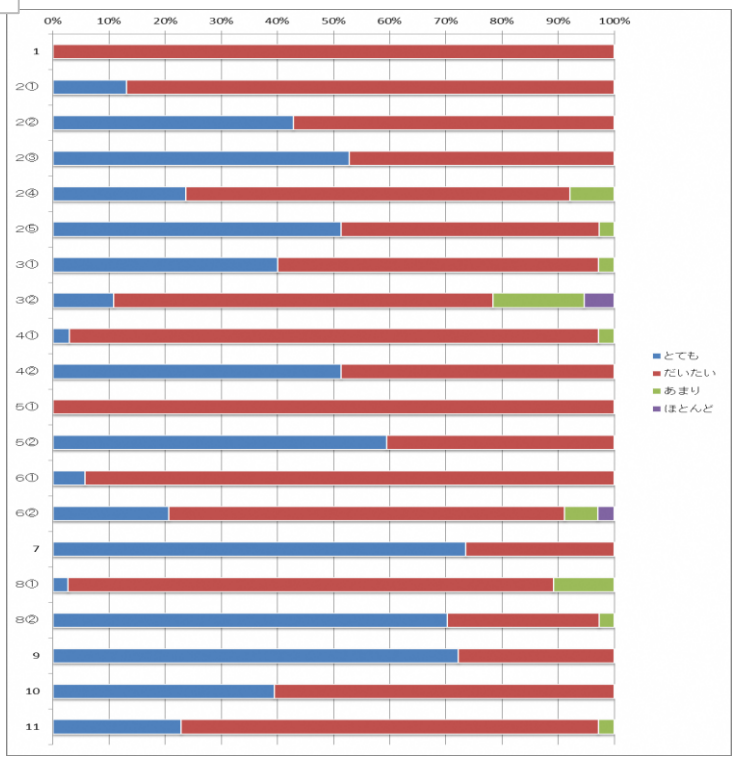
保護者アンケート

1. 本校の子供たちは、学校生活が楽しいと感じている。
2. ①本校では、子供たちにとってわかりやすい授業をしている。
   ②算数の授業で行っている少人数指導を通して、学力がついている。
   ③本校では授業のルールを守ることについて、子供たちに指導をしている。
   ④本校では、教員が一致協力して学習指導を工夫している。
   ⑤本校では、教員が一致協力して生活指導を工夫している。
3. 子供たちが学校の行事で活躍する場面がたくさんあり、内容が充実している。
4. 本校の子供たちは、友達が困っていると助けている。
5. 本校の子供たちは、友達に対して、いじめをしない。
6. 本校の子供たちは、なわとびやジョギング、体育の授業などでめあてをもってすすんで運動する。
7. 本校では、社会のルールを守ることについて子供たちに指導をしている。
8. 本校の子供たちは、自分から、先生や友達にあいさつをする。
9. 先生（担任・学年・専科・スクールカウンセラー）は、子供たちの話を聞いている。
10. 校長をはじめ教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。
11. 本校は、地域への情報提供や、地域の活動や行事に積極的であると感じる。



教員アンケート

1. 本校の子供たちは、学校生活が楽しいと感じている。
2. ①自分は、子供たちにとってわかりやすい授業をしている。
   ②算数の授業で行っている少人数指導を通して、学力がついている。
   ③自分は、授業のルールを守ることについて、子供たちに指導をしている。
   （例：授業規律10か条　チャイム　返事　あいさつ　等）
   ④本校では、教員が一致協力して学習指導を工夫している。
   ⑤本校では、教員が一致協力して生活指導を工夫している。
3. ①子供たちがの行事で活躍する場面がたくさんあり、内容が充実している。
   ②自分は学校の行事で、児童が活躍する場面をたくさん用意し、内容を充実させている。
4. ①本校の子供たちは、友達が困っていると助けている。
   ②自分は、子供たちが、友達が困っていると助けてるように指導している。
5. ①本校の子供たちは、友達に対して、いじめをしない。
   ②自分は、子供たちが、友達に対して、いじめをしないように指導している。
6. ①本校の子供たちは、なわとびやジョギング、体育の授業などでめあてをもってすすんで運動する。
   ②自分は、子供たちが、なわとびやジョギング、体育の授業などでめあてをもってすすんで運動するよう指導している。
7. 本校では、社会のルールを守ることについて子供たちに指導をしている。
8. ①本校の子供たちは、自分から、先生や友達にあいさつをする。
   ②自分は、子供たちが、自分から、先生や友達にあいさつをするように指導している。
9. （・・・スクールカウンセラー）は、子供達の話を聞いている。
10. 校長をはじめ教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。
11. 本校は、地域への情報提供や、地域の活動や行事に積極的であると感じる。



◎学校評価アンケート集計結果の考察

【　集計結果の特徴　】

（1）児童アンケート、保護者アンケートともに、肯定的評価（とても、だいたい）が1項目を除いて、すべて80％を超えた。

（2）児童アンケートで、肯定的評価が昨年度と比較して3パーセント以上変化があったものは、以下の項目である。

№1　82％⇒77％（5％－）　…「あなたは毎日学校へ行くのが楽しみですか。」

№2－②　89％⇒96％（7％＋）…「算数の授業で行っている少人数指導は、わかりやすいですか。」

№8　83％⇒87％（4％＋）　…「自分から、先生や友達にあいさつしていますか。」

（3）保護者アンケートで、肯定的評価が昨年度と比較して3パーセント以上変化があったものは、以下の項目である。

№2－②　83％⇒90％（7P＋）…「算数の授業で行っている少人数指導を通して、学力がついている。」

№2－⑤　91％⇒94％（3P＋）…「本校では、教員が一致協力して生活指導を工夫している。」

№11　93％⇒88％（5％－）　…「本校は、地域への情報提供や、地域の活動や行事に積極的である。」

（4）保護者アンケートでは、№8（子供たちが自分からあいさつする）の肯定的評価が80％以下（78％）である。児童アンケート、教員アンケートでは、それぞれ、86％、89％である。

【　（1）～（3）の分析　】

児童アンケート、保護者アンケートの大半の項目の肯定的評価が80％を超えたことから満足度が高まったと考えられる。

主な要因は、昨年度から取り組んでいる全校での生活指導・授業のルールの統一および徹底によって、引き続き本校の児童が、落ち着いて教育活動に取り組んでいることが挙げられる。算数の少人数指導の効果（№2－②）について児童、保護者ともに肯定的評価が大幅に上がっているのは、習熟度別指導の組織的な取組の効果が少しずつ実感できていると考えられる。

今後の課題は、最上の肯定評価（とても、A）の割合を上げて、児童、保護者の学校に対する満足度をさらに高めることである。

【　改善の方策　】

①今後も生活指導・授業のルールの統一および徹底を図り、落ち着いた学習環境をつくる。

②学力向上に向けて、授業改善の継続、習熟度別指導の充実、学力二極化の解消のための個に応じた指導の充実を図る。

【　（4）の分析　】

「子供たちが自分からあいさつをする」に関しては、保護者の肯定的評価は78％だが、昨年度の76％より伸びている。また、児童、教員の肯定的評価は80％を超え、昨年度よりも大きく伸びている。児童・教員と保護者の課題意識の差は出ているものの、校内で行ってきた「こんにちは運動」の効果が出てきていると考えられる。

今後の課題は、校外も含めたさらなるあいさつ指導の充実である。

【　改善の方策　】

①「こんにちは運動」のような、時期をみての継続的なあいさつ指導は引き続き行う。

②保護者・地域へのあいさつ運動の働きかけを強める。